

防災かわら版

第13号

〈巻頭言〉 びびり屋とびびり屋

とち防災マスターネットワーク

代表 大塚 徹

私は全国津々浦々を訪れることが多い仕事をしています。

ある時四国高松へJRで向かっていた我々一行は南から低気圧が迫っている予報の最中、一宮で大雨に遭遇、また名古屋駅が浸水というテレビを垣間見ました。

とにかくみんな名古屋駅まで行って、それから決めようと、名古屋駅に何とか到着。

その時四国行きローカル電車が最後一本だけ発車寸前。元来びびり屋の私は爆弾低気圧も来そうだしもう四国行くの止めにして明日まで様子見のため名古屋で一泊しようと思案しましたが、大塚さんはいつも最悪想定を言うびびり屋だからなら蹴され、スケジュールもあるし最悪事態は万が一は万が一の確立だから、我々にはないよ行けるなら行くことと言う事になり、結果は皆さん決断通り高松まで無事着くことが出来ました。（この場合はJRが行けると発車したわけですが）ほらやっぱり大丈夫だったと言われ、私を皆さん冷たい目で見ていたような気がします。

皆さんもこのような判断を下す場面はあったと思えますが、どう判断しましたか？

結果は大丈夫であっても、万が一途中で暴風雨にあって停車してしまったらその最悪のシナリオを考えたでしょうか。

ちょっと防災インフォメーション

国土交通省のタイムラインとは？

タイムラインとは、災害の発生を前提に防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画です。防災行動計画とも言います。



マイ・タイムライン作成のベースとして

人間は皆正常性バイアス（自分だけは災害に当たらない）があるそうで行けると判断する人は多い。やめようという人はびびり屋として笑われるのかもしれない。

当然大丈夫な場合が多いのが結果でしょうが、命はその万が一で終わるかもしれません。

あの時行かなければ良かったでは遅いのです。

私は防災対策にはびびり屋大いに結構と思います。

大いにびびり、もしもまさかの時、日頃から想定するのが防災ではないでしょうか？

私はびびり屋の指示がよかったと尊敬される日が来ないことを祈りはしています。外れることは大いに結構です。

私は今日もびびり屋で防災に勤めます。

十勝沖、今この瞬間来るかも？と思いつつながら。

* 令和5年度 活動実績（5月～3月）

月	日（曜）	活 動 内 容	場 所	マスター数	備 考
6	24（土）	令和5年度総会	十勝総合振興局講堂	18名	
8	20（日）	オビヒロホコテン	帯広市中心街	14名	
9	3（日）	帯広市地域防災訓練	帯広市立帯広小学校	3名	
9	13（水）	防災講話・防災グッズ作成	児童DS「花咲か舎」	2名	児童14名
10	5（木）	防災学習	音更町木野東小学校	2名	
11	25（土）	フォローアップ研修会	十勝総合振興局講堂	16名	
11	26（日）	北海道地域防災マスター認定研修会	帯広大谷短期大学	3名	
R62	7（水）	1日防災学校	広尾町立広尾中学校	1名	
2	17（土）	帯広市冬季防災訓練	帯広市立帯広第七中学校	4名	定員100名
その他		*役員会 3開催（5月 7月 8月）			

活動点描

佐藤研修部長によるフォローアップ研修

「帯広まちなか歩行者天国」オビヒロホコテン



応急措置



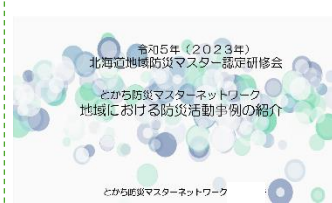
児童サービス「花咲か舎」



帯広市冬季防災訓練



地域防災マスター認定研修会



編集：谷口 副代表 兼 広報担当

【とちかち防災マスターネットワークの活動】

<https://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/kts/tokachibousaimasutar.html>

事務局 十勝総合振興局地域創生部危機対策室主査（危機対策） ☎（0155）26-9023